

北山文化圏センター 整備方針(案)

	ゾーン名	施設名	既存機能	現状・課題	整備方針(案)	導入機能(案)	備考
(仮称)交流促進ゾーン	コミュニティ・交流ゾーン 仮)そーり・センター	今帰仁村中央公民館 設計対象 (改修)	・研修・サークル活動 ・調理実習 ・講堂 ・広場(中庭)	・耐震診断(一次診断)はクリアしているが一部補強により安全性を強化する必要がある。コンクリートは補修後もチェック・維持管理が必要。(教育委員会は新庁舎に移動) ・建築物としての価値が高く維持・保存を望む声が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 今帰仁村の風土を現したシンボリックな建築物として保存・利活用を図る。 利活用にあたっては安全面の確保を前提とする。 村民のコミュニティ交流や内外の交流、子どもの居場所など、多目的に利用可能な用途を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多目的交流推進室 子どもの居場所・子ども食堂・無料塾等 カフェ、ワーキングスペース等 展示ギャラリー イベント・集会等 イベント広場 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育法に基づく「中央公民館」の位置づけは検討を要する。 コンクリート維持は継続的なチェックや補修・修復していく体制づくりが必要
		今帰仁村コミュニティセンター 設計対象 (既存解体・新築)	・作業・研修室・娯楽室 ・機能回復室 ・ホール・ステージ ・団体室	・最大350名収容のホールが2階にあるが、EVがなく高齢者・障がい者の利用に難がある。 ・コンクリートの状態は良好で、改修により寿命が延びる可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 平屋でコンパクトな形態に建替え。 300人収容の集会機能を確保しつつ、パーティション等で大小フレキシブルな利用を図る。 バリアフリー対策や利便性向上 中央公民館のコンセプトを踏襲し、屋内外を有効に利用できるような施設構成とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 最大300人収容、大小集会機能 ステージ・控室等(動線に配慮) 屋内外を有効に使えるステージ 調理実習・特産品試作機能 中央公民館のサークル活動や研修機能を分担する。 駐車場は役場駐車場と共にオープンな空間を作り出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館との連携利用に関する動線、景観的な連続性に配慮する
		仲宗根地区公園 設計対象 (改修)	・散策・休憩	・周辺集落の農村在住者の健康増進、憩いの場として整備された農村公園である。	<ul style="list-style-type: none"> 国道505号、県道72号線の交差点に面する好立地を生かした機能配置を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場・オープンスペース 休憩・散策路機能 	
	健康・教育・子育てゾーン 仮)そーり・パーク	今帰仁村保健センター 設計対象 (改修)	・集団検診ホール ・機能回復訓練室 ・栄養指導室(調理) ・保健指導室・交流室	・福祉保健課が役場庁舎に移動するため、今後の利活用方法の検討が必要である。(福祉保健課は新庁舎に移動)	<ul style="list-style-type: none"> 集団検診機能を別途確保する。 周辺の環境を生かし、新たに健康や子育て等の機能配置を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 診療所機能 機能回復訓練室 	<ul style="list-style-type: none"> 地域保健法に基づく施設として整備
		多目的広場 設計対象 (改修)	・芝広場	・イベント、祭り等の会場として利用している。子供連れで利用する村民が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境とのふれあい、子育て環境の充実など村民の健康づくりや子育てをとおした交流の場として機能配置を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場機能 イベント機能 	
		今帰仁の駅そーれ(基本構想)	・展示・販売 ・交流・談話室(食堂) ・研究厨房・食品庫 ・調理実習	・立地の視認性、駐車場不足などから、道の駅登録、利用拡大を目指すにあたっては立地の見直し等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の環境を生かし、子供から大人までくつろげる機能配置を図る。 特産品展示・販売機能は産業連携ゾーンと連動して検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ブックカフェ(図書館) 談話室・研修室 	<ul style="list-style-type: none"> ※今回の設計対象からは省き、産業連携ゾーンと連動して検討する。
自然ふれあいゾーン 仮)そーり・アベニュー	ソーリガー・後背丘陵 設計対象 (新規)	・	・湧き水から流れ出る水路を活かした環境づくりが望まれる。	<ul style="list-style-type: none"> ソーリガーの流れを活かしビオトープや親水空間等の環境づくりを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)北山文化アベニュー(散策路) ゾーリガーの復元 ビオトープ機能 親水・ふれあい機能 サガリバナ等の植栽 森の散策路 		
産業連携ゾーン 仮)道の駅シュガー(サーター)・ステーション	(仮)道の駅機能(基本構想)	・企業有地	・現在、北部製糖(株)の敷地内のため、社内において工場及び倉庫の更新等について検討中。 ・北部製糖(株)と連携し、協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 村の産業を集約した特産品展示販売機能や飲食機能 北部製糖(株)と連携し、製糖業ミュージアム、体験など滞在・消費を促す道の駅等の機能配置を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅機能 製糖業ミュージアム・体験機能 特産品展示販売機能 散策道路、園地整備、ドッグラン等 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に産業連携機能を集約していく 	
対象地全体			・各施設が単独で整備されてきたため統一性、連続性が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> 北山文化圏センター整備計画のコンセプトを踏襲 中央公民館のシンボル性を活かす 自力建設の精神性を踏襲 全体のランドスケープデザイン 沖縄の信仰的な空間概念の踏襲 屋上緑化や環境共生型の空間づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 施設間連絡動線・散策路機能 駐車場の配置及び利用の連携を促進する動線 植栽・花による演出 		